



全体研究会を振り返って

先日は全体研究会、お疲れ様でした。

約 2 時間弱の会の中で報告、情報提供、発表等が全部で 5 本。幕の内弁当のようなバラエティに富んだ構成でしたが、「どの話も分かりやすくてとても良かった」「色々な先生が話をされて、みんなで取り組んでいるという一体感を感じた」「ミドルリーダーや若手の先生方が積極的に発信してくださっているのがとてもありがたいと感じた」等、嬉しい反応を寄せていただきました。



① 授業づくり推進プロジェクト中間報告（田中秀）

3 つの分掌を横断して編成したプロジェクトチームによる検討状況についての報告でした。本校教職員の考えや意見を基に、白兔養護学校の児童生徒に付けたい力として 6 観点 25 要素にまとめられました。今後は、授業等における実用化を目指してさらに検討が進められます。

② キャリア教育について（酒本）

「ライフ・キャリアの虹」を使い、「キャリア」や「役割」は、生きることそのものと深く関わりがあること、人生の節目節目で変化していくこと等を学びました。小中高の指導の一貫性を大切にすることで、キャリア教育の推進にもつなげていきたいと改めて感じました。

③ 新学習指導要領の改訂ポイントについて～自立活動に焦点を当てて～（石井）

今回の改訂で、小・中学校学習指導要領に初めて「自立活動」という言葉が書かれました。また、30 年度には高等学校において通級指導が開始されることから、自立活動の指導の重要性は今後益々増していきます。通常の教育における自立活動の指導の充実を図っていく観点からも、まずは私たち特別支援学校の教員が自立活動について正しく理解し、本校の児童生徒への適切な指導を進めていくことが大切だと感じています。

④ アクティブ・ラーニング～主体的・対話的で深い学びについて～（伊藤・木下・福安・石原）

これからの社会、世界を生きていく子ども達にとって、「なぜ」「なんのために」アクティブな学びが求められているのか。まずそこをきちんと押さえておく機会になりました。今回の説明は、主体的・対話的で深い学びについてコンパクトに分かりやすくまとめられており、演習では担当者の細やかな配慮のもと、和やかな雰囲気の中で進めていただきました。

⑤ 子どもの学びをつなぎ、友だちとのつながりを深める生活単元学習の授業づくり（倉田・金山）

今回の発表の一番のポイントは、『つなぐ』ということです。友だちや教師とのつながり、生活とのつながり、学びのつながりを大切にしているという説明がありました。学びのつながりとは、過去・現在・未来の単元が、子ども自身にとって意味のあるつながりとなっていること。また、生活単元学習と他の授業（教科別の指導や課題学習等）との関連を持たせていくこと。このことは、「学びの文脈」とも言われ、カリキュラム・マネジメントの視点からも重要です。

今回の資料及び動画はこちら



今回の全ての資料データ及び記録用の映像を、「HAKUTO-TNAS」→「職員データ保存」→「H29 研究部」→「研修」→「夏季全体研」のフォルダに入れておきます。御活用ください。